

# COSMOS 第 24 回定例ミーティング

日時：2020 年 6 月 26 日(金)20 時～21 時 20 分

参加者 7 名

## 1. 近況報告…オンライン授業や分散登校について

- …オンライン授業(ZOOM)はパワーポイントで授業を展開した。チャット機能(生徒⇒授業者の一方向)は普段発言しない生徒も発言できていた。ブレイクアウトセッションも活用した。最大人数は 70 人  
学校で困っていることは、対面で対話させられないこと  
学校での生活はマスク着用である

## 2. ヨシモトコレクションの活用&科博の活用

- - …ヨシモトコレクションがスマートフォンでうまく表示できない  
⇒新ヨシモトコレクションはデータ量が激重なので、通信状況が厳しい
  - …VR ゴーグル(¥3000)はデータが重い。趣味ならいいが授業で購入してまでは必要ないような気がする  
軽くて安価なゴーグルがあれば教材にしてもいいかも！  
⇒科博のミュージアムショップで販売していた？ハコスコ hacosco.com
  - …F さん提供の系統樹
- - ・科博の植物図鑑を使って授業展開した。
  - ・すごろくを作る⇒ヴァーチャル科博をつかうことを狙ったが、使わずに図説や教科書を使って作成していた。  
ヴァーチャル科博で床や展示紹介をみることは厳しい。初見の人には内容を把握するのは厳しい。行ったことある人なら分かる。

## 3. ヴァーチャルの活用

- - ・ヴァーチャル科博は、画面共有しながら利用することは厳しい。
    - ・自宅のデスクトップで一覧の画面を出してテロップをつけて、資料を作成し学生へ説明した。  
⇒学生の課題は、問いづくり
    - ・授業は 2 回に分けて行った。
    - ・授業の展開として、学生から出てきた問いはまとめて共有した
    - ・学生がヴァーチャル科博を利用した感想は『すばらしい』
    - ・ヴァーチャル科博はデータが重い。あのレベルが限界か。フリーにぼやけている。狙ったところに行けない。
    - ・今自分がどこにいるのか把握しづらい。⇒科博へ 1 回も行ったことがない人は迷子になる。
- 教材として使うためには補足資料(静止画の写真と画像説明)が必要だと考える。
- ・ヴァーチャル科博は、リアルに施設を見学することとセットがよいと考える。見学前や見学後の活用
  - ・日本は保守的だが、海外の美術館(ルーブル美術館など)は googlemap で探検できる？
  - ・ヴァーチャルを活用するのは、展示の並びを意識させるといいのではないか
- 
- ・提案：ヴァーチャル科博では展示 1 つ 1 つを見るのではなく、展示と展示の繋がりを考えてみたい。以前、地学の先生が案内してくださったときに生命大爆発は爆発していく様子を表すために空間を広くしていつている

&三葉虫の展示背景を知った。

- ・現在、ディスカバリートークも人数制限ありで復活

- ・提案：オンラインでディスカバリートーク(有料)を行うのはどうか？ 同期で行い⇒非同期で公開する？

人数制限もだいぶ余裕できてきた、コンパスのワークショップをオンラインで行う

新宿高校や筑駒で講演してくださった先生は、科博の公開情報で標本の内容が多く含まれている(GBIF に日本でまとめている)が授業で意義を見出して活用してほしいと考えている。GBIF に日本でまとめている

- ・科博に情報はたくさんあるが、情報を手探りしている状態⇒いろいろなデータを分析するスキルを伸ばす活用の仕方を先生にご指南していただけないか？オンライン講習会の実施は可能か？18時から可能か？

- ・質問：学校単位での利用は今後どのような流れになるのか？⇒回答：現在は一般入場と同じになっている(申請不要)。20分に5人ずつ入場できる。

次回は7月下旬で予定

科博を活用したオンライン授業案は、Slackへ投稿をお願いします。